
令和3年度

人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

人吉市監査委員

人監第161号
令和4年10月24日

人吉市藍田財産区管理者
人吉市長 松岡隼人 様

人吉市監査委員 井上祐太

人吉市監査委員 犬童利夫

令和3年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、令和3年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算及び附属書類の審査を行ったので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

目 次

第 1	審査の対象	2
第 2	審査の期間	2
第 3	審査の方法	2
第 4	審査の結果	2
第 5	審査の概要	3
1	決算の総括	
(1)	決算収支の状況	3
(2)	歳入の状況	4
(3)	歳出の状況	6
第 6	財産に関する調書	8
	審査のむすび	10

令和3年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

1 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

(1) 令和3年度 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

2 付属資料

(1) 令和3年度 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書

(2) 令和3年度 人吉市藍田財産区特別会計実質収支に関する調書

(3) 令和3年度 人吉市藍田財産区財産に関する調書

第2 審査の期間

令和4年9月12日から令和4年9月22日まで

第3 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類（歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）について、関係法令に準拠して作成されているか、財政運営は健全か、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係帳簿及び証拠書類との調査照合を行い、必要に応じて関係職員の説明、参考書類の提出を求め、定期監査、例月出納検査等の結果を参考として、各計数の正確性について審査を行った。

第4 審査の結果

1 審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類は、関係法令に準拠した様式で作成されており、また、決算計数も関係帳簿と照合した結果正確であり、当年度における決算を適正に表示しているものと認めた。

2 令和4年5月末日における令和3年度歳計剰余金（歳入歳出差引額）は、金融機関が発行した預金残高証明書と照合した結果一致した。

第5 審査の概要

1 決算の総括

(1) 決算収支の状況

(単位:円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
(1)歳入総額	50,238,625	41,974,180	8,264,445	19.7
(2)歳出総額	38,835,240	32,502,733	6,332,507	19.5
(3)歳入歳出差引額	11,403,385	9,471,447	1,931,938	20.4
(4)翌年度繰越財源	0	0	0	
(5)実質収支	11,403,385	9,471,447	1,931,938	20.4
(6)単年度収支	1,931,938	415,905	1,516,033	364.5
(7)積立金	10,148	4,266,207	△ 4,256,059	△ 99.8
(8)積立金取崩し額	5,000,000	3,000,000	2,000,000	66.7
(9)実質単年度収支	△ 3,057,914	1,682,112	△ 4,740,026	△ 281.8

当年度の決算規模は、上記のとおりで、歳入総額 50,238,625 円、歳出総額 38,835,240 円、歳入歳出差引額は 11,403,385 円となっており、前年度に比べ歳入は 8,264,445 円 (19.7%)、歳出は 6,332,507 円 (19.5%) いずれも増加している。決算収支の状況は、歳入歳出差引額 (形式収支)、実質収支はいずれも 11,403,385 円となっている。

また、この額から前年度実質収支 9,471,447 円を差し引いた単年度収支は 1,931,938 円の黒字となり、さらに、この単年度収支に黒字要素の財政調整基金積立金 10,148 円を加え、赤字要素の積立金取崩し額 5,000,000 円を差し引いた実質単年度収支は、3,057,914 円の赤字となっている。

【参考】

※単年度収支の考え方

当年度の実質収支と前年度の実質収支の差であり、当該年度だけの収支を把握するための指標である。

■要点1 当年度単年度収支が黒字の場合

前年度の実質収支が黒字の場合には当該年度に新たな剰余を生じたことを意味し、赤字の場合には過去の赤字を解消したことになる。

■要点2 当年度単年度収支が赤字の場合

前年度の実質収支が黒字の場合には過去の剰余金の食いつぶしであり、赤字の場合には赤字額が増加したことを意味する。

(2) 歳入の状況

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R03	49,247,000	50,238,625	50,238,625	0	0	102.0%	100.0%
R02	41,933,000	41,974,180	41,974,180	0	0	100.1%	100.0%
増減	7,314,000	8,264,445	8,264,445	0	0		

→収入済額は、前年度に対し、8,264,445円(19.7%)増加している。

→歳入の内訳は、審査資料第1表、第2表のとおりである。

→なお、款別の内訳は以下のとおりである。

1 款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R03	10,853,000	11,580,400	11,580,400	106.7%	100.0%
R02	5,318,000	5,317,000	5,317,000	100.0%	100.0%
増減	5,535,000	6,263,400	6,263,400		

→収入済額は、前年度に対し6,263,400円(117.8%)増加している。増の要因は、森林環境保全整備事業費補助金である。

2 款 財産収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R03	17,449,000	17,436,480	17,436,480	0	0	99.9%	100.0%
R02	14,537,000	14,555,350	14,555,350	0	0	100.1%	100.0%
増減	2,912,000	2,881,130	2,881,130	0	0		

→収入済額は、前年度に対し2,881,130円(19.8%)増加している。増の主な要因は、財産売払収入のうち素材売払収入などである。

→収入未済額はなかった。

資料

(ア) 財産の貸付状況

NO	名称	契約件数	金額(円)	備考
1	一般貸付	8	73,405	
2	企業貸付	12	770,322	ソフトバンクモバイル(株)、(株)NTTドコモ九州支社 外
3	公共貸付	2	430,488	人吉市(梅園及び駐車場)、人吉警察署
4	九州電力送配電(株)熊本支社	4	702,562	
5	西日本電信電話(株)熊本支店	1	44,580	
6	九州電力送配電(株)人吉配電事業所	2	103,249	二次占用
合計		29	2,124,606	

(イ) 素材生産販売委託事業実績

番号	在 地			樹 種 (林齢)	面 積 (ha)	材 積 (m ³)	売上金額 A	素材生産販売 委託事業費 B	組合、市場 手数料 C	藍田財産区有林整備 事業(間伐・搬出) 委託料①	森林環境保全整備 事業費補助金 ②	単独継足分 ①-② D	純 利 益 A-B-C-D	備 考
	字	林班	小班											
1	岩首	23	16小班 他	杉・桧 (42~44)	AB材 0.23	102.415	2,164,261	732,267	238,067				1,193,927	R3.9.1 単価契約
2	岩首	23	16小班 他	杉・桧 (42~44)	CD材 0.23	64.582	761,144	390,721	38,056				332,367	R3.9.1 単価契約
3	岩首	23	16小班 他	杉・桧 (42~44)	AB材 10.78	452.035	9,664,111	1,243,096	1,063,051	6,550,000	4,454,000	2,096,000	5,261,964	R3.11.1 単価契約
4	岩首	23	16小班 他	杉・桧 (42~44)	CD材 10.78	213.836	2,520,207	2,116,976	126,010				277,221	R3.11.1 単価契約
合 計						832.868	15,109,723	4,483,060	1,465,184	6,550,000	4,454,000	2,096,000	7,065,479	

3 款 繰入金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R03	10,002,000	10,000,000	10,000,000	100.0%	100.0%
R02	3,236,000	3,235,671	3,235,671	100.0%	100.0%
増減	6,766,000	6,764,329	6,764,329		

➡収入済額は、前年度に対し6,764,329円(209.1%)増加している。増の要因は、一般会計繰入金及び財政調整基金繰入金である。

4 款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R03	9,471,000	9,471,447	9,471,447	100.0%	100.0%
R02	9,055,000	9,055,542	9,055,542	100.0%	100.0%
増減	416,000	415,905	415,905		

➡収入済額は、前年度に対し415,905円(4.6%)増加している。

5 款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R03	1,472,000	1,750,298	1,750,298	118.9%	100.0%
R02	9,787,000	9,810,617	9,810,617	100.2%	100.0%
増減	△8,315,000	△8,060,319	△8,060,319		

➡収入済額は、前年度に対し8,060,319円(82.2%)減少している。減の主な要因は、分収造林分収金である。

(3) 歳出の状況

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額	執行率
					対予算
R03	49,247,000	38,835,240	0	10,411,760	78.9%
R02	41,933,000	32,502,733	0	9,430,267	77.5%
増減	7,314,000	6,332,507	0	981,493	

➡ 支出済額は前年度と比べ、6,332,507円(19.5%)増加している。

➡ 不用額は前年度と比べ、981,493円(10.4%)増加している。

1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R03	4,093,000	4,040,945	0	52,055	98.7%
R02	4,093,000	4,058,231	0	34,769	99.2%
増減	0	△ 17,286	0	17,286	

➡ 支出済額は、前年度に対し17,286円(0.4%)減少している。

➡ 支出の主なものは、人件費(議員報酬)3,985,200円などである。

➡ 不用額の主なものは、交際費17,000円などである。

2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R03	4,185,000	3,602,110	0	582,890	86.1%
R02	3,603,000	3,077,450	0	525,550	85.4%
増減	582,000	524,660	0	57,340	

➡ 支出済額は、前年度に対し524,660円(17.0%)増加している。

➡ 増の主な要因は、期末手当(会計年度任用職員)などである。

➡ 不用額の主なものは、需用費(消耗品費等)131,473円などである。

3 款 財産費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R03	29,467,000	29,248,552	0	218,448	99.3%
R02	19,792,000	18,953,638	0	838,362	95.8%
増減	9,675,000	10,294,914	0	△ 619,914	

➡ 支出済額は、前年度に対し10,294,914円(54.3%)増加している。

➡ 増の主な要因は、委託料(素材生産販売事業委託、経営計画に基づく間伐・搬出事業委託など)、森林作業道「岩首2号線」開設事業負担金などである。

資料

(ア) 財産管理費の内訳

(単位：円)

区分		金額	備考
1	物件費	需用費	160,153
		役務費（手数料）	17,150
		委託料	7,478,244
		使用料及び賃借料	295,724
		原材料費	345,950
小計（A）		8,297,221	
2	住民等への補助	負担金、補助及び交付金	705,600
			622,000
小計（B）		1,327,600	
3	その他	役務費（保険料）	68,454
		公課費	32,800
		小計（C）	101,254
合計（A）+（B）+（C）		9,726,075	

※藍田財産管理協力会交付金の内訳（団体運営費 705,600 円、公民館改修工事等 622,000 円）

(イ) 財産造成費の内訳

(単位：円)

区分		金額	備考
投資的経費等	委託料（新植）	6,200,000	森林環境保全整備事業（東大塚町字横尾）
	委託料（防護柵）	4,280,000	森林環境保全整備事業（東大塚町字横尾）
	委託料（間伐）	6,550,000	森林環境保全整備事業（大畑町字岩首）
	負担金（作業道開設）	2,476,520	岩首2号線
	事務費（燃料費）	15,957	
合計		19,522,477	

4 款 諸支出金

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R03	1,978,000	1,943,633	0	34,367	98.3%
R02	6,417,000	6,413,414	0	3,586	99.9%
増減	△ 4,439,000	△ 4,469,781	0	30,781	

➡支出済額は、前年度に対し 4,469,781 円（69.7%）減少している。

➡減の主な要因は、財政調整基金積立金などである。

5 款 予備費

(単位：円)

年度	当初・補正予算額	予備費充当額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R03	10,783,000	1,259,000	0	9,524,000	
R02	9,550,000	1,522,000	0	8,028,000	
増減	1,233,000	△ 263,000	0	1,496,000	

➡予備費充当額は 1,259,000 円である。款別の充当額は、財産費が 1,259,000 円となっている。

第6 財産に関する調書

令和3年度における財産増減状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地及び建物

① 土地

(単位：㎡)

区分	R02年度末現在高	増減	R03年度末現在高
行政財産	725	0	725
普通財産	13,944,141	0	13,944,141
合計	13,944,866	0	13,944,866

→ 当年度土地の増減はなく、当年度末現在高は 13,944,866 ㎡となっている。

② 建物

(単位：㎡)

区分	R02年度末現在高	増減	R03年度末現在高
行政財産	297	0	297
普通財産	16	0	16
合計	313	0	313

→ 当年度建物の増減はなく、当年度末現在高は 313 ㎡となっている。

(2) 山林

① 面積

(単位：㎡)

区分	R02年度末現在高	増減	R03年度末現在高
所有	10,481,456	98,767	10,580,223
分収	3,181,102	△ 102,890	3,078,212
貸付	93,608	4,123	97,731
合計	13,756,166	0	13,756,166

→ 山林面積の増減の内訳は、分収林のうち熊本県行造林分 102,890 ㎡が令和4年2月に返地により減となり、貸付は民間企業への貸付により 4,123 ㎡の増、その結果、所有は 98,767 ㎡の増となった。山林面積は前年度現在高と同じ 13,756,166 ㎡となっている。

② 立木推定蓄積量

(単位：m³)

区分	R02年度末現在高	増減	R03年度末現在高
所有	410,578	5,569	416,147
分収	101,862	2,742	104,604
※上段が全体蓄積量、下段が財産区分	42,100	△ 16,376	25,724
貸付	0	0	0
合計	101,862	2,742	104,604
	452,678	△ 10,807	441,871

→ 立木推定蓄積量は、立木推定成長量の増はあったものの分収割合の見直しにより 10,807 m³の減となり、当年度末現在高は、441,871 m³となっている。

→ ②表中の分収・合計欄は、分収林の全体蓄積量を上段とし、下段に財産区分（合計欄は所有含む。）を記入した。

(3) 出資による権利

(単位：千円)

区 分		RO2年度末 現在高	増減	RO3年度末 現在高
くま中央森林組合	出資金	2,674	0	2,674

→出資による権利の当年度末現在高に変動はなく、くま中央森林組合への出資金 2,674 千円となっている。

2 物品

(単位：台)

区分	RO2年度末現在高	増減	RO3年度末現在高
物品	2	0	2

→物品は、「人吉市物品会計規則」第3条第2項の規定に基づき、取得価格又は取得評価額が1点50万円以上の物品の合計額とした。

<車両保有状況>

(単位：台)

車種区分	RO2年度末 現在高	増減	RO3年度末 現在高
普通乗用車 (キャラバン)	1	0	1
普通乗用車 (エクストレイル)	1	0	1
合計	2	0	2

→車両の保有状況については表記のとおりであり、当年度末現在高に変動はない。

3 基金

(1) 財政調整基金

(単位：千円)

区分	RO2年度末 現在高	増減	RO3年度末 現在高
預金	203,903	△ 4,990	198,913
合計	203,903	△ 4,990	198,913

(2) 繰出金調整基金

(単位：千円)

区分	RO2年度末 現在高	増減	RO3年度末 現在高
預金	152	0	152
合計	152	0	152

→基金の当年度末現在高については表記のとおりである。

審査のむすび

令和3年度の人吉市藍田財産区特別会計の決算は前述のとおりである。

1. 概要

藍田財産区の山林面積は、令和3年4月現在の本市の山林面積15,942haの約8.6%に当たる1,376haとなっている。この内、経営計画面積（直営林）は1,071.65haで、その内訳は、人工林811.37ha、天然林247.82ha、竹林2.38ha、その他10.08haとなっている。

当年度の財産管理に関しては、素材生産販売委託事業として素材（材積832.868^m）を販売したほか、同様に継続事業として、区有林内の事故、盗伐防止のための区有林巡視業務委託事業が実施されている。また、藍田財産管理協力会交付金として、藍田地区の各団体連絡協議会運営費等12件の交付が行われており、その内訳は、団体運営費交付金（7団体）705,600円、大野町公民館改修工事外4件622,000円の合計1,327,600円（前年度1,216,100円）となっている。

なお、財産造成事業に関しては、当年度、経営計画に基づく間伐（大畑町字岩首）及び新植（東大塚町字横尾）、さらには森林作業道「岩首2号線」開設事業等に取り組んだ。

2. 歳入及び歳出

次に、当年度の歳入歳出についてみると、歳入は前年度に対し8,264,445円（19.7%）増加している。これは、素材売払収入が2,598,925円（20.8%）の増、及び森林環境保全整備事業に対する県補助金6,263,400円の増が主な要因となっている。

また、歳出は、前年度に対し6,332,507円（19.5%）増加している。これは、財産造成費における経営計画に基づく間伐事業、人工造林事業等が9,048,985円の増となったことが主な要因と考えられる。

3. 所見

森林・林業基本法は、モントリオールプロセス等の国際的な文脈を踏まえながら、「森林の有する多面的機能の持続的な発揮」という表現で、「持続可能な森林経営」を位置付けており、森林・林業基本計画においても、林業が森林生態系の生産力に基礎を置いていること、今後の森林の整備・保全に当たって生物多様性保全の考え方を踏まえることなどが強調されている。

また、国は、森林・林業基本法及び森林・林業基本計画の理念において、木材生産だけを追求するのではなく、持続可能な森林経営の実現を基本としていることから、これからの地域の森林・林業の構想については、この点を十分に踏まえながら進めていかなければならないことはいうまでもない。

これまでの藍田財産区の財政運営を検証すると、財政調整基金については、平成18年度から国債運用がなされ平成28年度までに運用利息37,950千円を計上することができた。しかし、平成29年度以降においては、国の低金利政策もあり、これまで同様の運用利息は期待できないことから、今後における歳入財源は、主要事業収入である素材販売収入に頼ることとなり、不足する分を財政調整基金から補填するといった厳しい財政運営が今後も続くと予想される。

よって、今後の財産区の経営に際し、厳しい現状を再認識するとともに、経営計画を基本とするきめ細かな森林計画のもと、積極的な財産形成及び財産の有効利用はもとより健全な財政運営を損なうことのないよう努められたい。併せて、財産の管理及び処分についても、地方自治法に定められた財産区の基本原則を認識し、的確な事務処理に努められたい。また、山林関係に携わるエキスパート職員の不足を憂い、専門的知識を持った人材の確保は喫緊の課題であることを申し添えておく。

審查資料

第 1 表	歲入歲出決算總括表	1 2
第 2 表	歲入決算年度比較表	1 3
第 3 表	歲出決算年度比較表	1 4
第 4 表	性質別分類比較表	1 5
第 5 表	節別分類比較表	1 6

第1表

歳入歳出決算総括表

(歳入)

(単位:円)

款別	区別	当初予算額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
県支出金		4,943,000	5,910,000	10,853,000	11,580,400	11,580,400	0	0
財産収入		9,298,000	8,151,000	17,449,000	17,436,480	17,436,480	0	0
繰入金		9,002,000	1,000,000	10,002,000	10,000,000	10,000,000	0	0
繰越金		7,000,000	2,471,000	9,471,000	9,471,447	9,471,447	0	0
諸収入		6,000	1,466,000	1,472,000	1,750,298	1,750,298	0	0
合計		30,249,000	18,998,000	49,247,000	50,238,625	50,238,625	0	0

(歳出)

(単位:円)

款別	区別	当初予算額	補正予算額	予備費支出及び 流用増減	予算現額	支出済額	不用額
議会費		4,450,000	△ 357,000	0	4,093,000	4,040,945	52,055
総務費		4,185,000	0	0	4,185,000	3,602,110	582,890
財産費		17,285,000	10,923,000	1,259,000	29,467,000	29,248,552	218,448
諸支出金		1,978,000	0	0	1,978,000	1,943,633	34,367
予備費		2,351,000	8,432,000	△ 1,259,000	9,524,000	0	9,524,000
合計		30,249,000	18,998,000	0	49,247,000	38,835,240	10,411,760

第2表

歳入決算年度比較表

(単位：円・%)

区分 款別	年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額に 対する増減	予算現額 対収入 済額比	調定 対収入 済額比	収入済額	
										構成比	前年度 対比
県 支 出 金	R01	2,000	0	0	0	0	△ 2,000	-	-	-	-
	R02	5,318,000	5,317,000	5,317,000	0	0	△ 1,000	100.0	100.0	12.6	皆増
	R03	10,853,000	11,580,400	11,580,400	0	0	727,400	106.7	100.0	23.0	117.8
財 産 收 入	R01	4,971,000	5,128,023	5,115,853	0	12,170	144,853	102.9	99.8	18.1	△ 63.7
	R02	14,537,000	14,555,350	14,555,350	0	0	18,350	100.1	100.0	34.7	184.5
	R03	17,449,000	17,436,480	17,436,480	0	0	△ 12,520	99.9	100.0	34.7	19.8
繰 入 金	R01	8,089,000	8,088,286	8,088,286	0	0	△ 714	100.0	100.0	28.6	761.0
	R02	3,236,000	3,235,671	3,235,671	0	0	△ 329	100.0	100.0	7.7	△ 60.0
	R03	10,002,000	10,000,000	10,000,000	0	0	△ 2,000	100.0	100.0	19.9	209.1
繰 越 金	R01	10,547,000	10,547,037	10,547,037	0	0	37	100.0	100.0	37.4	△ 6.8
	R02	9,055,000	9,055,542	9,055,542	0	0	542	100.0	100.0	21.6	△ 14.1
	R03	9,471,000	9,471,447	9,471,447	0	0	447	100.0	100.0	18.9	4.6
諸 收 入	R01	4,507,000	4,499,548	4,499,548	0	0	△ 7,452	99.8	100.0	15.9	△ 49.5
	R02	9,787,000	9,810,617	9,810,617	0	0	23,617	100.2	100.0	23.4	118.0
	R03	1,472,000	1,750,298	1,750,298	0	0	278,298	118.9	100.0	3.5	△ 82.2
合 計	R01	28,116,000	28,262,894	28,250,724	0	12,170	134,724	100.5	100.0	100.0	△ 19.9
	R02	41,933,000	41,974,180	41,974,180	0	0	41,180	100.1	100.0	100.0	48.6
	R03	49,247,000	50,238,625	50,238,625	0	0	991,625	102.0	100.0	100.0	19.7

第3表

歳出決算年度比較表

(単位：円・%)

款別	区分	年度	予算現額		支出済額		不			用		執行率	前年度対比
			金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	額	構成比率	額		
議 会 費		R01	5,345,000	19.0	5,236,524	27.3	108,476	1.2	2.0	98.0	11.8		
		R02	4,093,000	9.8	4,058,231	12.5	34,769	0.4	0.8	99.2	△ 22.5		
		R03	4,093,000	8.3	4,040,945	10.4	52,055	0.5	1.3	98.7	△ 0.4		
総 務 費		R01	3,817,000	13.6	3,284,573	17.1	532,427	6.0	13.9	86.1	8.4		
		R02	3,603,000	8.6	3,077,450	9.5	525,550	5.6	14.6	85.4	△ 6.3		
		R03	4,185,000	8.5	3,602,110	9.3	582,890	5.6	13.9	86.1	17.0		
財 産 費		R01	7,406,000	26.3	6,594,816	34.4	811,184	9.1	11.0	89.0	△ 58.7		
		R02	19,792,000	47.2	18,953,638	58.3	838,362	8.9	4.2	95.8	187.4		
		R03	29,467,000	59.9	29,248,552	75.3	218,448	2.1	0.7	99.3	54.3		
諸 支 出 金		R01	4,082,000	14.5	4,079,269	21.2	2,731	0.0	0.1	99.9	292.1		
		R02	6,417,000	15.3	6,413,414	19.7	3,586	0.0	0.1	99.9	57.2		
		R03	1,978,000	4.0	1,943,633	5.0	34,367	0.3	1.7	98.3	△ 69.7		
予 備 費		R01	7,466,000	26.6			7,466,000	83.7	100.0				
		R02	8,028,000	19.1			8,028,000	85.1	100.0				
		R03	9,524,000	19.3			9,524,000	91.5	100.0				
合 計		R01	28,116,000	100.0	19,195,182	100.0	8,920,818	100.0	31.7	68.3	△ 22.3		
		R02	41,933,000	100.0	32,502,733	100.0	9,430,267	100.0	22.5	77.5	69.3		
		R03	49,247,000	100.0	38,835,240	100.0	10,411,760	100.0	21.1	78.9	19.5		

第4表

性質別分類比較表

(単位：円・%)

区分 性質別	決算額			構成比率			すう勢指数			前年度との増減	
	R03	R02	R01	R03	R02	R01	R03	R02	R01	金額	増減率
人件費	6,292,136	5,926,262	5,897,499	16.2	18.3	30.7	106.7	100.5	100.0	365,874	6.2
物件費	9,304,997	8,226,558	7,153,036	24.0	25.3	37.3	130.1	115.0	100.0	1,078,439	13.1
投資的経費	19,506,520	10,464,965	0	50.2	32.2	0.0	-	-	-	9,041,555	86.4
繰出金	1,933,482	2,147,169	1,491,260	5.0	6.6	7.8	129.7	144.0	100.0	△ 213,687	△ 10.0
補助費等	1,787,954	1,471,534	2,065,378	4.6	4.5	10.7	86.6	71.2	100.0	316,420	21.5
その他の経費	10,151	4,266,245	2,588,009	0.0	13.1	13.5	0.4	164.8	100.0	△ 4,256,094	△ 99.8
合計	38,835,240	32,502,733	19,195,182	100.0	100.0	100.0	202.3	169.3	100.0	6,332,507	19.5

第5表

節別分類比較表

(単位：円・%)

節別	区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		増減	
		予算現額	決算額(イ)	構成比率	不用額	決算額(ロ)	構成比率	決算額	構成比率	決算額(イ)-(ロ)	前年度対
1	報酬	5,424,000	5,422,992	14.0	1,008	5,422,992	16.7	5,656,000	29.5	0	0.0
2	給料	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
3	職員手当等	618,000	610,616	1.6	7,384	266,655	0.8	18,351	0.1	343,961	129.0
4	共济費	327,000	258,528	0.7	68,472	236,615	0.7	223,148	1.2	21,913	9.3
5	災害補償費	0	0	—	0	0	—	0	—	0	—
8	旅費	95,000	24,000	0.1	71,000	24,000	0.1	432,980	2.2	0	0.0
9	交際費	17,000	0	—	17,000	0	—	8,468	0.0	0	—
10	需用費	1,139,000	827,390	2.1	311,610	679,456	2.1	783,790	4.1	147,934	21.8
11	役務費	526,000	402,143	1.0	123,857	426,016	1.3	374,385	1.9	△ 23,873	△ 5.6
12	委託料	24,512,000	24,508,244	63.1	3,756	13,620,540	41.9	4,155,291	21.6	10,887,704	79.9
13	使用料及び賃借料	342,000	295,724	0.7	46,276	299,970	0.9	666,650	3.5	△ 4,246	△ 1.4
15	原材料費	351,000	345,950	0.9	5,050	0	—	227,280	1.2	345,950	皆増
16	公有財産購入費	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
17	備品購入費	4,000	0	—	4,000	193,710	0.6	555,770	2.9	△ 193,710	皆減
18	負担金補助及び交付金	3,852,000	3,812,120	9.8	39,880	4,735,065	14.6	1,738,800	9.1	△ 922,945	△ 19.5
23	投資及び出資金	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
24	積立金	12,000	10,151	0.0	1,849	4,266,245	13.1	2,588,009	13.5	△ 4,256,094	△ 99.8
26	公課費	533,000	383,900	1.0	149,100	184,300	0.6	275,000	1.4	199,600	108.3
27	繰出金	1,965,000	1,933,482	5.0	31,518	2,147,169	6.6	1,491,260	7.8	△ 213,687	△ 10.0
28	予備費	9,524,000	0	—	9,524,000	0	—	0	—	0	—
99	賃金(使用不可)	3,000	0	—	3,000	0	—	0	—	0	—
	合計	49,247,000	38,835,240	100.0	10,411,760	32,502,733	100.0	19,195,182	100.0	6,332,507	19.5

